

令和2年度 教育委員会事務局長「政策宣言」達成状況

教育委員会事務局長 原 宗 之

○ 令和2年度重要事業

事業名	ICT教育の充実
目 標	<p>新型コロナウイルスなどの感染症や災害の発生等による学校の臨時休業等の緊急時においても、子どもたちの学びを保障できる環境を確保するため、国が推進するGIGAスクール構想の実現に向けて、学校の高速度大容量の通信ネットワーク整備等のICT周辺環境整備を計画的に進めます。</p> <p>あわせてICTを活用した学習スキルやプログラミング学習、情報モラル等について教員研修の充実を図ります。</p>
年 度 末 達 成 状 況	<p>GIGAスクール構想の実現に向けて、高速度大容量の通信ネットワークを整備したほか、児童一人ひとりにタブレット端末を配備しました。また、ICT周辺環境整備として大型モニター等を全ての普通教室に設置しました。</p> <p>あわせてICT機器の活用やプログラミング学習、情報モラル等の教育研修を行ったほか、授業力の向上を図るためICT支援員を増員しました。</p>
自 己 評 価	<p>新型コロナウイルス感染症等に伴う臨時休業等においても子どもたちの学びを保障できる環境の確保に目途がつけました。引き続きICT教育の充実に努めます。</p>

事業名	確かな学力の定着
目 標	<p>教員の児童生徒に接する時間を十分確保し、教育の質の維持・向上を図るため統合型校務支援システムを導入します。</p> <p>また、外国人児童生徒が円滑に学校生活を送れるよう外国人相談員の増員やAI翻訳機の導入を図るとともに、引き続き、小学校にALT及び外国語活動指導員を配置し、英語教育の充実を図ります。</p>
年 度 末 達 成 状 況	<p>確かな学力の定着を図るため、統合型校務支援システムを4月からの本格的運用への準備を整えました。</p> <p>また、外国人相談員の増員やAI翻訳機を活用して外国人児童生徒が円滑な学校生活を送れるよう努めたほか、引き続き小学校にALT等を配置し外国語指導の充実に努めました。</p>
自 己 評 価	<p>新型コロナウイルスや記録的な大雪による臨時休業のため、教員が児童生徒に接する時間の確保が難しい一年間でした。統合型校務支援システムの導入等が児童生徒の学校生活の充実や確かな学力の定着につながるよう引き続き努めます。</p>

事業名	地域における教育の充実とスポーツの振興
目標	<p>放課後の子どもたちの安全安心な居場所を確保するため、放課後児童クラブとさんさん広場を増設し、子育てを応援します。</p> <p>市民のスポーツに親しむ機会を提供するため、スポーツ施設の適切な維持管理を図るとともに県西部唯一となる人工芝グラウンドを有するフットボールセンターの整備に向け、実施設計に着手します。</p>
年度末達成状況	<p>小杉地区センター2階に放課後児童クラブを開設したほか、ヨシダ大島体育館や本江コミュニティセンターにさんさん広場を新設しました。</p> <p>また、海竜スポーツランドの熱源改修を行ったほか、新型コロナウイルス感染症対策として新湊アイシン軽金属スポーツセンターや大門総合体育館の換気設備を更新しました。このほか、フットボールセンター整備の実施設計を完了しました。</p>
自己評価	<p>放課後児童クラブ等の増設・新設により子どもたちの安全安心な居場所を確保しました。また、コロナ禍において体育施設の使用制限により市民に不便をおかけしましたが、新型コロナウイルス感染症対策を行うことができました。フットボールセンターは令和4年度オープンに向けて引き続き整備に取り組めます。</p>